



第38回

北信越国民体育大会

福井しあわせ元気国体プレ大会



カヌー競技 (スラローム・ワイルドウォーター) プログラム

《会期》平成29年4月29日(祝)~30日(日) 《場所》九頭竜川 特設カヌーコース

主催／(公財)日本体育協会・福井県・新潟県・石川県・富山県・長野県・福井県教育委員会・新潟県教育委員会・石川県教育委員会・富山県教育委員会
長野県教育委員会・(公財)福井県体育協会・(公財)新潟県体育協会・(公財)石川県体育協会・(公財)富山県体育協会・(公財)長野県体育協会
共催／会場地市町・会場地市町教育委員会・福井しあわせ元気国体等大野市実行委員会
後援／スポーツ庁 主管／(公財)福井県体育協会・福井県各競技団体



この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

開催の趣旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

日本体育協会スポーツ憲章

スポーツ精神とは、自らスポーツを行うことに意義と価値を認め、常に品位と名誉を重んじ、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じて自己の能力・適性等に応じて、主体的かつ継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことである。

(公益財団法人日本体育協会スポーツ憲章より抜粋)

目次

若い力	1	式典次第	11
新福井県民歌	1	諸会議日程	11
あいさつ	2	大会日程	11
お祝いの言葉	3	競技組み合わせ表	12
あいさつ	4	競技成績表	13
あいさつ	5	監督・選手名簿	14
歓迎のことば	6	カヌー競技の見方	15
競技会役員	7	競技会会場案内図	17
競技役員	8	宿舎一覧	18
福井しあわせ元気国体プレ大会			
大会役員	9		
競技会役員・競技会補助員	10		

若い力

日本体育協会選定
佐伯孝夫 作詞
高田信一 作曲

新福井県民歌

三好達治 作詞
小松長生 作曲

一、若い力と
燃えよ若人
歓喜あふれる
肩にひとひら
花も輝け
競え青春

二、薫る英気と
瞳あかるい
僕のよろこび
挙る凱歌に
友情身にしむ
競え青春

三、こゝにして新しき世は
ふるき世に替わりて興る
あなさやけ天つ日のもと
新壘の道はるかなり

一、長江は野に横たはり
青海は岬にうたふ
国どころ越前若狭
たたなはる山しうるはし

二、秋の日の垂り穂ゆたかに
いや足らふ海のいろくづ
機杼の音も幸はふ
うまし国越前若狭

一、感激に
胸を張れ
ユニフォーム
花が散る
希望にみちて
強き者

二、純情に
スポーツマン
君のもの
虹が立つ
熱こそいのち
強き者

たたなはる (重なりあって連なる) 足らふ (十分である)
いろくづ (魚のうろこ、魚) 幸はふ (豊かに栄える)
あなさやけ (とても清らかだ) 新壘 (新しく開壘する)

あいさつ



第38回北信越国民体育大会 会長
福井県知事 西川 一 誠

第38回北信越国民体育大会が北信越各県から選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、福井県において盛大に開催されますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、各県の厳しい予選を勝ち抜いた精鋭が、郷土の代表としての誇りを胸に、今年開催の「愛顔つなぐ えひめ国体」への出場権獲得をめざし、熱い戦いを繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典です。

選手の皆様には、日ごろ鍛えた技と力を十分に発揮され、郷土の期待に応えるとともに、地域の人たちとの友情の輪を大きく広げていただき、思い出に残るすばらしい大会となりますよう祈願しております。

本県では、来年開催される第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体・大会」に向けて、県・市町の競技会場の整備を進めており、メイン会場となる福井運動公園では、県営体育館や県営テニス場が完成し、本年4月に供用を開始しました。さらに、県民総参加で、全国から多数の選手、役員の皆様を温かくお迎えし、心のこもったおもてなしをする準備を進めるとともに、全国初の試みとして、国体会期中に障スポ競技を開催するなど、国民体育大会と障害者スポーツ大会の「融合」を広くアピールしていきたいと考えています。北信越各県の皆様におかれましてもご支援・ご協力をお願いします。

また、県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、豊かな自然の中で育まれた福井県の食をご堪能いただくとともに、永平寺や一乗谷朝倉氏遺跡など本県の歴史や文化の魅力に触れていただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催にご尽力いただきました会場地の市町をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と大会の成功を祈念申し上げます。あいさつといたします。

お祝いの言葉



福井県議会議長 松井 拓夫

第38回北信越国民体育大会が、北信越5県の代表の選手や関係の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを、地元 福井県議会を代表し、心からお祝い申し上げます。

皆様には、日ごろから、スポーツの振興に多大なご尽力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、スポーツを通して明るい社会づくりに貢献されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

本大会は、第72回国民体育大会(愛媛国体)への出場権をかけて行われ、北信越地区では最も権威のある大会であります。選手の皆様には、日ごろ鍛えられた力と技を十分に発揮され、輝かしい成果を収められることを期待しております。

福井県は、豊かな自然や歴史、多彩な伝統工芸や美しい和食文化に恵まれ、また、子どもたちの学力・体力や県民の幸福度も全国トップクラスの評価を受けております。県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、福井の魅力を満喫していただければ幸いに存じます。

来年の第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」は本県での開催となります。必要な施設や環境の整備も順調に進んでおり、県外からのお客様をお迎えする準備も、県民一丸となって盛り上げてまいります。来年、皆様方とここ福井で再びお会いできることを念願しております。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた役員の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功と、大会にご参加の皆様方のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

あ い さ つ



公益社団法人 日本カヌー連盟
会長 成 田 昌 憲

この度、福井県大野市の九頭竜川特設カヌー会場において「第38回北信越国民体育大会 兼福井しあわせ元気国体カヌー競技プレ大会」を開催できますことは、私どもカヌー関係者にとりまして、この上ない喜びです。

この大会は、平成30年に開催されます第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国民体育大会」カヌー競技スラローム・ワイルドウォーター種目のプレ大会として実施されるもので、誠に有意義な大会です。

競技会場となります九頭竜川特設カヌー会場は、九頭竜川源流の緑豊かな自然の中にあり、その中で大会に関係する方々が一体となって競技会を開催することにより、カヌー競技の発展に大いに寄与することと確信しているところです。

また、選手の皆様には、日頃からの練習の成果を発揮され、また、会場地の方々との交流を深めていただくことにより、実りある競技会になることを期待しております。

終わりに、本競技会の開催に当たり、ご尽力いただきました福井県大野市をはじめ、多くのご指導、ご支援、ご協力をいただいた福井県、福井しあわせ元気国体・大会実行委員会、福井県カヌー協会の皆様に厚くお礼を申し上げ、ごあいさついたします。

あ い さ つ



福井県カヌー協会 会長 上 松 信 行

このたび、大野市に北信越各県より選手・役員をお迎えして、第38回北信越国民体育大会カヌー競技(スラローム・ワイルドウォーター)が行われますことは、真に喜ばしく、心よりご歓迎申し上げます。

本大会は、来年行われます福井しあわせ元気国体のプレ大会を兼ねており、ここが福井しあわせ元気国体の会場にもなります。

九頭竜川は、岐阜県との境にあります油坂峠に発し、日本海に注ぐ、北陸地方屈指の大河川ですが、会場はその上流、九頭竜ダム・鷺ダムのすぐ下に位置し、イワナ、アマゴ、アユ、アジメドジョウなどが生息しております。また、近くにはスキー場やキャンプ場などもあり、四季を通じて県内外からの観光客でにぎわっております。お出でいただきました皆様にも、九頭竜川の清流と、豊かな緑の山々を存分にお楽しみいただけるものと存じます。

この自然の中で行われます競技スポーツとしてのカヌーの魅力は、また格別のものがあります。この競技に打ち込まれた選手の皆さんには、日頃鍛え抜かれた技と力を十分に発揮され、優秀な成績を残されますことをご期待申し上げます。

終わりに、本大会を開催するにあたり、ご支援・ご協力を賜りました皆様に深くお礼を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

歓迎のことば



福井しあわせ元気国体等
大野市実行委員会 会長

大野市長 岡田 高大

「第38回北信越国民体育大会カヌー競技 兼 福井しあわせ元気国体カヌー競技
プレ大会」に、各地から多数の選手、監督及び関係者の皆様を大野市にお迎えし、
盛大に開催できますことを心からお喜び申し上げ、大野市民とともに歓迎申し上げます。

大野市は、福井県の東部に位置し、緑豊かな自然環境が育む美味しい水と食に恵
まれた、歴史、文化、伝統が息づく魅力あふれるまちです。

大野市では「結の故郷越前おおの」をブランドキャッチコピーに、人・歴史・文化・
伝統・自然環境・食などの大野市が誇る魅力ある素材のすべてを越前大野ブランドと
して磨き上げる取り組みを行っております。この機会に、訪れた皆様方には、大野市
の魅力を感じていただくとともに、参加される役員や選手、監督の皆様にも幸せを感じ
る元気あふれる大会になっていただければ幸いです。

選手の皆様には、日頃鍛えた技と力を思う存分発揮され、本大会を通じて自己の
研鑽と相互の親睦がますます図られますことを心から期待しております。

結びに、本大会の開催に当たりご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上
げますとともに、本大会の成功とカヌー競技の益々の隆盛をご祈念申し上げ、歓迎の
ことばといたします。

競 技 会 役 員

名誉会長	岡田 高大			
会長	上松 信行			
副会長	塚田 一郎	佐々木 紀	野上浩太郎	小山 健英
顧問	山崎 利昭	洞口 幸夫	松田 公二	畑中六太郎
	重森 俊道	岩田 繁憲		
参与	清水 悦朗	帰山 正信		
委員長	前田 博司			
副委員長	江龍田 章	古谷 利彦	橋本 充	小澤 康雄
委員	山崎 勝彦	五十川美香子	水丸 喜之	飛坂 昌英
	近藤 英幸	國京 健二	藤井 寛隆	野口 雄慶
	中辻 雅浩	上木 大輔	竹田 光一	巢守 和義
	前田 幸枝	近藤 雅晴	久司 満	高木 信寿
	武江 一			

競 技 役 員

競技委員長	徳永 覚			
競技委員会委員	前田 博司			
総務部長	山川 裕右			
総務部員	柳澤 恵子	岩見 達三	前田 幸枝	黒田知津江
審判部長	伊藤 久雄			
発艇主任	寺澤 正弘			
発艇員	加藤 智也	丹下 智之		
区間審判主任	矢澤 勝美	関川 秀康		
区間審判員	近藤 恭啓	竹中 淳	山本 学	久嶋 道弘
	高橋 一樹			
ゲート審判員	尾崎 健二	篠田 浩之	今西 範美	勝野 敦子
	高橋 康平	佐伯 岩雄	佐藤 穂高	佐伯 岩雄
	吉田 隼人	川原 成弥		
決勝審判長	市川 浩良			
決勝審判員	岡本 拓也	坂口 幸司	宮田 真吾	
計時員	大島 舜己			
集計主任	橋本 充			
集計員	豊吉 和也	甚内 剣		
記録員	白石 眞子	木下 莉沙		
検艇主任	鈴木 利一			
検艇員	中島 扶	中野 雄太	河野佑次郎	霜田 薫
	大塚満里菜			
安全主任	飛坂 昌英			
技術部長	加藤 彰則			
コースデザイナー	加藤 哲平			
デモンストレーター	加藤 哲平			
競技補助員	大野市立和泉中学校			

福井しあわせ元気国体プレ大会

大会役員(順不同・敬称略)

名誉会長	岡田 高大			
大会会長	上松 信行			
大会副会長	佐々木 紀	野上浩太郎	小山 健英	塚田 一郎
	岩田 繁憲	畑中六太郎		
顧問	山崎 正昭	滝波 宏文	山岸 猛夫	山崎 利昭
参与	洞口 幸夫	榮 正夫	砂子 三郎	畑中 章男
	兼井 大	島口 敏榮	高岡 和行	松原 啓治
	藤堂 勝義	宮澤 秀樹	川端 義秀	梅林 厚子
	永田 正幸	松田 元榮	高田 育昌	廣田 憲徳
	野村 勝人	堀田 昭一	清水美那子	山川 秀
	関 園子	田中雄一郎	今 洋佑	松田 公二
	古瀬 徳和	明石 則夫	小林 紀子	佐々木啓補
	松田 祐一	末永 巖	久保 俊岳	埴山 正信
	安間 勝也	稲山 幹夫	石神 正啓	山本 耕平
	山本サチヨ	芦原 亮人	金森 闊治	新井 俊成
	坂井八千代	朝日 俊雄	小川市右エ門	山田 幸平
	岸田 尚悟	重森 俊道		
大会委員長	前田 博司			
大会副委員長	江龍田 章	古谷 利彦	橋本 充	小澤 康雄
大会委員	飛坂 昌英	近藤 英幸	國京 健二	藤井 寛隆
	野口 雄慶	中辻 雅浩	上木 大輔	竹田 光一
	巢守 和義	前田 幸枝	近藤 雅晴	久司 満
	高木 信寿	武江 一		

福井しあわせ元気国体プレ大会

競技会係員 (市実施本部)

本部長	田中雄一郎				
副本部長	今洋佑	松田公二			
選手受付係	横井一博	谷喜美江	林俊光		
総務係	横田晃弘				
来賓受付係	小村圭美				
総合案内係	平田光邦				
歓迎係	小林則隆	林恭子			
広報記録係	廣作力	鈴木翔太			
消防警備係	渡辺輝英	獺友会			
競技会場係	常見和正	臼井五月	銅智康	山田努	
	宮村友介	石本達成	宇野純一		
放送係	平瀬和美				
輸送・駐車場係	酒井元哉	佐藤実	大野市防犯隊		
式典係	大久保克紀	松本佳代	帰山正信	佐々木智恵美	
美化係	吉田陽				
宿泊・弁当係	嶋田奈津江				
医療係	山崎高宏	中村和美	伊藤千晶		
事務局	畑中六太郎	清水悦朗	福山貴久	三嶋政昭	
	山崎勝彦	松森浩之	小松功英	表早苗	
	五十川美香子	松本高志	藤本久実子	乾力斗	
	石田信悟	山本久大	長谷川裕美	水丸喜之	
	池端定男				

競技会補助員 (市民ボランティア) (順不同・敬称略)

末永 勝士 谷 弘典 巢守 和義 池田 誠一 巢守関次郎 森 忍
末永 聡史 山本 一人 表 茂美 村松 泰規 浦井ひとみ 村上 幸子
佐々木正祐

式典次第

【開始式】

期日 4月30日(日)
 時間 午前9時より
 場所 スキーセンター

【表彰式】

期日 4月30日(日)
 時間 午後4時より
 場所 スキーセンター

次 第

- 1 役員・選手団整列
- 2 開式通告
- 3 競技会開始宣言
- 4 国歌斉唱
- 5 若い力斉唱
- 6 競技会会長あいさつ
- 7 歓迎のことば
- 8 祝辞
- 9 競技上の注意
- 10 選手宣誓
- 11 閉式通告
- 12 役員・選手団解散

次 第

- 1 役員・選手団整列
- 2 開式通告
- 3 成績発表
- 4 表彰
- 5 競技会会長あいさつ
- 6 競技会終了宣言
- 7 閉式通告
- 8 役員・選手団解散

諸会議日程

会議名	期日	時間	場所	電話番号
監督会議	4月29日(土)	午後3時40分より	スキーセンター	会場責任者 前田博司 090-4322-8133

大会日程

平成29年4月29日(土)

- 9:00~16:00 受付・検艇
 9:30~11:30 公式練習(スラローム)
 12:00~14:00 公式練習(ワイルドウォーター)
 14:10 ワイルドウォーター
 デモンストレーション
 15:40 監督会議

平成29年4月30日(日)

- 8:00 役員集合
 8:50 役員・選手団整列
 9:00 開始式
 9:30 スラローム
 デモンストレーション
 10:15 スラローム決勝1本目
 12:00 スラローム決勝2本目
 13:30 ワイルドウォーター ノン
 ストップトレーニング
 14:40 ワイルドウォーター決勝
 16:00 表彰式

競技組み合わせ表

スラローム競技

女子K-1

選手名	県名	1本目		2本目	
		発艇順	発艇時間	発艇順	発艇時間
神田 志保	長野	1	10:15	1	12:00
荒城 祐佳	富山	2	10:16	2	12:01

男子K-1

選手名	県名	1本目		2本目	
		発艇順	発艇時間	発艇順	発艇時間
井川 祥志	福井	1	10:24	1	12:09
佐伯雄太郎	新潟	2	10:25	2	12:10
篠原 武文	長野	3	10:26	3	12:11
藤井 大智	富山	4	10:27	4	12:12

女子C-1

選手名	県名	1本目		2本目	
		発艇順	発艇時間	発艇順	発艇時間
寺垣 光	富山	1	10:45	1	12:30

男子C-1

選手名	県名	1本目		2本目	
		発艇順	発艇時間	発艇順	発艇時間
塚原嘉之佑	富山	1	10:50	1	12:35
櫻井 忍	長野	2	10:51	2	12:36
高田 和樹	福井	3	10:52	3	12:37

ワイルドウォーター競技

男子K-1

選手名	県名	発艇順	発艇時間
久司 満	石川	1	14:40
岩瀬 晶伍	新潟	2	14:41
内山 岳佳	長野	3	14:42
國京 健二	福井	4	14:43

女子K-1

選手名	県名	発艇順	発艇時間
本田 圭	新潟	1	14:56
江田 純子	福井	2	14:57
笹生 裕子	石川	3	14:58

競 技 成 績 表

女子K-1

県名	ゼッケン	氏名	発艇時間	到着時間	所要時間	減点	合計	順位	成績
長野	7	神田 志保	10:15						
			12:00						
富山	10	荒城 祐佳	10:16						
			12:01						

男子K-1

県名	ゼッケン	氏名	発艇時間	到着時間	所要時間	減点	合計	順位	成績
福井	14	井川 祥志	10:24						
			12:09						
新潟	1	佐伯雄太郎	10:25						
			12:10						
長野	4	篠原 武文	10:26						
			12:11						
富山	8	藤井 大智	10:27						
			12:12						

女子C-1

県名	ゼッケン	氏名	発艇時間	到着時間	所要時間	減点	合計	順位	成績
富山	11	寺垣 光	10:45						
			12:30						

男子C-1

県名	ゼッケン	氏名	発艇時間	到着時間	所要時間	減点	合計	順位	成績
富山	9	塚原嘉之佑	10:50						
			12:35						
長野	5	櫻井 忍	10:51						
			12:36						
福井	15	高田 和樹	10:52						
			12:37						

男子K-1

県名	ゼッケン	選手名	発艇時間	到着時間	所要時間	成績
石川	12	久司 満	14:40			
新潟	2	岩瀬 晶伍	14:41			
長野	6	内山 岳佳	14:42			
福井	16	國京 健二	14:43			

女子K-1

県名	ゼッケン	選手名	発艇時間	到着時間	所要時間	成績
新潟	3	本田 圭	14:56			
福井	17	江田 純子	14:57			
石川	13	笹生 裕子	14:58			

監督・選手名簿

県名	監督 (所属)	種別	種目	ゼッケン 番号	選手 (所属)
新潟	近藤 雅晴 (三島郡北部土地改良区)	男子	SK-1	1	佐伯雄太郎 (一般社団法人三条市体育協会)
			WK-1	2	岩瀬 晶伍 (一般社団法人三条市体育協会)
		女子	WK-1	3	本田 圭 (一般社団法人三条市体育協会)
長野	北澤 啓二 (長野県坂城高校教員)	男子	SK-1	4	篠原 武文 (日精樹脂工業株式会社)
			SC-1	5	櫻井 忍 (株式会社ノースウエスト)
			WK-1	6	内山 岳佳 (広田産業株式会社)
		女子	SC-1	7	神田 志保 (長野県カヌー協会)
富山	佐伯 岩雄 (子ロル)	男子	SK-1	8	藤井 大智 (富山市立山田小学校)
			SC-1	9	塚原嘉之佑 (新潟医療福祉大学)
		女子	SK-1	10	荒城 祐佳 (ゼビオ株式会社)
			SC-1	11	寺垣 光 (公益財団法人富山市体育協会)
石川	笹生 裕子 (小松市立高等学校教員)	男子	WK-1	12	久司 満 (県立小松高校教員)
		女子	WK-1	13	笹生 裕子 (小松市立高等学校教員)
福井	近藤 英幸 (株式会社ウエマツ)	男子	SK-1	14	井川 祥志 (あわら市カヌー協会)
			SC-1	15	高田 和樹 (公益財団法人福井県体育協会)
			WK-1	16	國京 健二 (JA共済連福井)
			WK-1	17	江田 純子 (公益財団法人福井県体育協会)

カヌー競技の見方

カヌー競技の現況

昭和39年（1964年）東京オリンピックのカヌー競技に日本が初めて参加して以来、カヌースポーツに対する国民の関心が高まってきました。

もともとカヌーは、私たちの祖先が海・湖沼などで物資輸送や交通手段、そして狩猟に使用するなど生活に欠かせない道具として、大切にされてきました。

そのようなことから歴史は古く、いろいろなスポーツと同様に人々に親しまれています。特に、欧州各国での普及はめざましく、1924年パリオリンピックで公開競技、1936年ベルリンオリンピックから正式競技に採用され、世界で最も普及したスポーツの一つとなっています。

近年は、自然と親しむアウトドアスポーツとしても注目を集め、愛好者も増えて、生涯スポーツとして盛んに行われています。わが国においては、日本カヌー連盟を中心として全国各都道府県にカヌー協会が設置されております。国民体育大会には、昭和57年第37回国民体育大会（島根県）より正式競技として採用され、全国に充実発展しています。

カヌーの概要

カヌーには、カヤック（K）とカナディアン（C）の2種類があります。カヤックは、艇の中央部に座り、パドル（櫂・かい）の両端にあるブレード（水かき）で、左右交互に水をかきながら艇を進めます。また、カナディアンは、立てひざもしくは片ひざの姿勢で、片側だけにブレードのついたパドルを操作し進みます。後述のスプリントに使われる艇（カヤック）のみ、足で舵（かじ）を操作しながら方向を整えますが、それ以外はすべてパドルで方向を整えながら進みます。

ボートとカヌーの違いは、ボートはリガー（オールを固定する場所）が取り付けられているのに対し、カヌーはどのタイプもパドルが固定されていません。そのため、ボートは後ろ向きに進みますが、カヌーはすべて前向きに進みます。

カヌー競技の種目と種別

国民体育大会の競技には、静水面で行う「カヌースプリント競技」と河川の急流で行う「カヌースラローム競技」「カヌーワイルドウォーター競技」の3種類があります。

各競技とも、選手は（A）・（B）両方に参加できることになっています。

- ・カヌースプリント （A）200m （B）500m
- ・カヌースラローム （A）15ゲート （B）25ゲート
- ・カヌーワイルドウォーター （A）スプリント （B）1500m

*北信越国民体育大会では（B）のみが実施されます。

カヌースプリント

流れのない河川・湖沼・港湾等を利用し、一定の距離とレーン（水路）を決めて着順を競います。

国民体育大会での競技種目は、平成 29 年より、成年男子と成年女子が K-1（1 人乗り）、C-1（1 人乗り）の各 2 種目、少年男子が K-1、C-1、K-2（2 人乗り）、C-2（2 人乗り）、K-4（4 人乗り）の 5 種目、少年女子が K-1、K-2（2 人乗り）、K-4（4 人乗り）の 3 種目となっています。ただし、K-4 は少年男子と少年女子が隔年（奇数年は男子、偶数年は女子）で行い、愛媛国体では少年男子が実施されます。

カヌースラローム

カヌーを使った回転競技で、変化に富んだ流れのある河川で行う競技です。ダウンストリームゲート（漕ぎ下り：緑と白のポール）とアップストリームゲート（漕ぎあがり：赤と白のポール）を、パドルを使ってポールに触れないように通過し、その速さを競います。国民体育大会では 25 ゲートと 15 ゲートで競技が行われ、コースの距離は 250m～400m 以内でゲートが設定されます。順位は、スタートからゴールまでの所要タイムに、各ゲート通過時のペナルティ（罰点）を加えて決定します。漕ぐ速さと正確さが求められます。したがって、点数の少ない方が上位となります。各選手は 2 回漕行し、そのうちの良い方の成績で順位付けがされます。

・ゲート通過時のペナルティ

正しく通過 …………… 0点

ポールに触れる（何回でも）…………… 2点

不通過 …………… 50点

・成績の計算例

スタートからゴールまでの所要時間を 1 分 40 秒として

1 分 40 秒=100 秒=100 点

ペナルティ（罰点）をポールに接触 1 か所、不通過 1 か所として

2 点+50 点=52 点

成績（タイムとペナルティの合計）

100 点+52 点=152 点

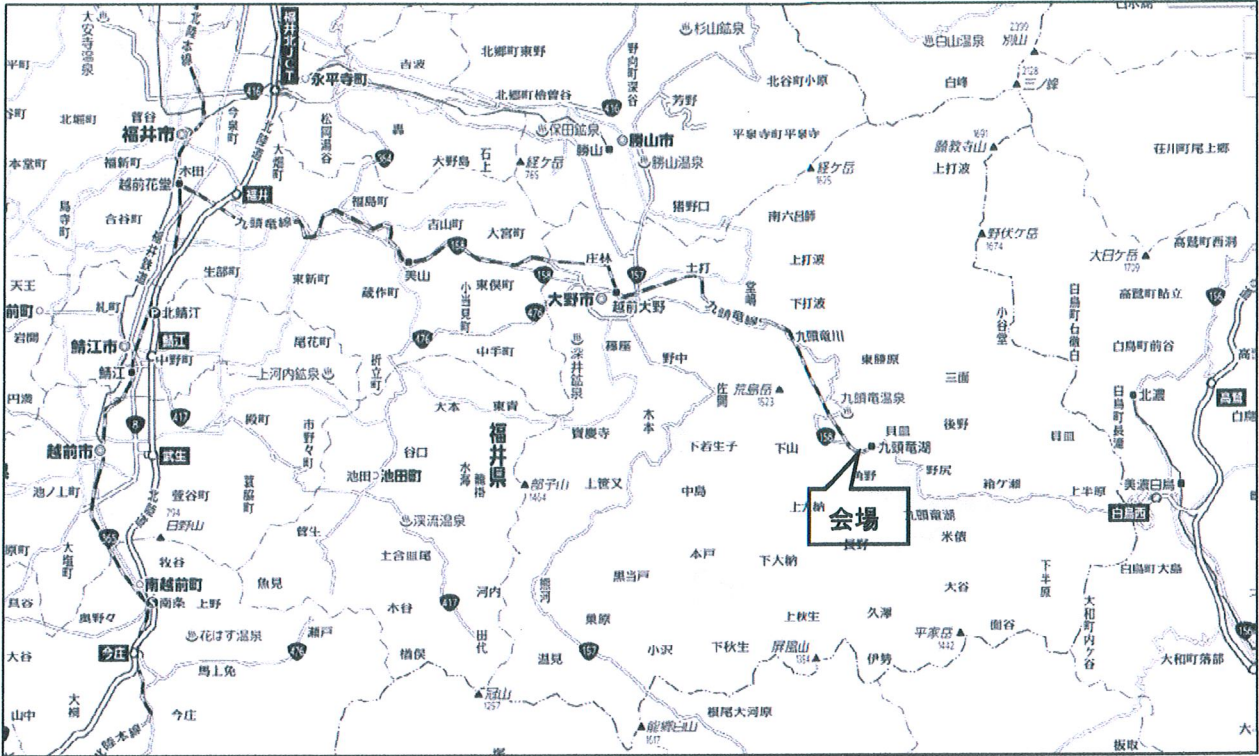
カヌーワイルドウォーター

岩などの障害をかわしながら、流れの激しい河川を一気に漕ぎ下る競技で、順位は所用タイムの少ない方が上位となります。流れを読む力が要求されます。

国民体育大会の競技は、1500m とスプリント（300m～600m）の 2 つの距離で行われます。スプリントは 2 回漕行した合計タイムで順位を競います。

競技会場案内図

カヌー競技(スラローム・ワイルドウォーター)



アクセス

JR 利用：福井駅から九頭竜線（越美北線）にて九頭竜湖駅下車 徒歩 13 分

自動車利用：北陸自動車道福井 IC から国道 158 号を東進

東海北陸道白鳥西 IC より中部縦貫道（油坂道）東市布 IC から国道 158 号を西進

宿 舎 一 覧 表

県 名	宿 舎 名	所 在 地	電 話
新潟	フレアール和泉	〒912-0207 大野市下山63-2-24	0779-78-2536
石川			
富山			
長野			
福井			

競技会本部・記録本部

九頭竜川特設カヌーコース
 〒912-0205 大野市朝日・角野
 TEL 0779-64-4826(大野市国体推進課)
 会場責任者 前田博司 090-4322-8133

救 急 指 定 病 院

大野市和泉診療所 ・ 休日急患診療所
 大野市朝日23-11 ・ 大野市篠座117-6-1
 電話0779-78-2650 ・ 0779-65-8999

大 会 本 部

第38回北信越国民体育大会実行委員会事務局
 福井市福町3-20 県営体育館内 (公財)福井県体育協会内
 TEL 0776-34-2719 FAX 0776-34-2742